

# 土井勇畫伯

## 1929 30 繪修業の旅へ

米國を經て巴里に赴く

布哇が生んだ青年天才畫家土井勇氏は愈々藝術の都巴里で腕を磨くべく先週故郷の加哇島カラヘオから出府して來たが今週土曜日（今日）のシエイラ號で渡米するここになつた、同氏は初め紐育に赴き舊師たるコロンビヤ大學のヘクマン教授に面會の上で巴里に赴くが同地滞在は約二ケ年の豫定で、修業後一應歸布のつもりであるが都合に依つては直日本に渡り母國畫壇に腕を試す意圖を有してゐる、土井氏は昨日本社を訪問して告別したが渡歐前に紐育で個人展覽會を催すそうである、因に第二世にして當地から直接巴里へ修業に赴くのは土井氏が最初である

の スキ セ チ ツ ダ

カー と 作 工 念 入

P150,009

